

11月は「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」

世界的に脅威となっている薬剤耐性(AMR)問題に係る全国的な普及啓発活動を推進するため、日本では、毎年11月を「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」に設定しています。これを機に、AMR臨床リファレンスセンターでは11月1日からさまざまなキャンペーンを実施します。今年のキャンペーンも、TVアニメ「はたらく細胞」とのコラボで、多くの方に訴求していきます。



キャンペーンサイト公開！

<http://amr.ncgm.go.jp/information/campaign2020.html>



①TVアニメ「はたらく細胞」 薬剤耐性対策ツール

キャンペーンサイトからダウンロード ＊期間限定＊

昨年に引き続き 今年のキャンペーンもTVアニメ「はたらく細胞」で展開します。前回のキャラクターに加え、マクロファージと化膿レンサ球菌も登場しています。



ポスター

©清水茜／講談社・アニプレックス・davidproduction



リーフレット

©清水茜／講談社・アニプレックス・davidproduction

②ASMRでちょっとゾクゾク キャンペーンムービー

11月1日公開

📞イヤフォンでお聞きください📞

なぜか詳しいアレックスと薬剤師のかすみちゃんが、音の演出も楽しめるASMR*動画で薬剤耐性や抗菌薬について教えてください。

* Autonomous Sensory Meridian Response



#1「彼はどこかでそれを知った」



#2「彼女はなぜかいつもその話をする」

③都内150幼稚園や全国の協力薬局で啓発ツール、 TVアニメ「はたらく細胞」グッズを配布

11月1日より

今年も薬剤耐性(AMR)や抗菌薬をテーマにした川柳を 11月1日より募集いたします



近年、抗菌薬が効くにくい薬剤耐性(AMR)をもった細菌が世界的に増えており大きな社会問題になっています。日本では毎年11月を「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」と位置づけ、重点的な啓発活動をすすめています。その啓発活動の一環としてAMR 対策について、一般の方にも自分の事として関心をもって、理解を深め、考えていただくため、昨年に続き、第4回「薬剤耐性(AMR)あるある川柳」の公募を行います。今回は一般部門と医療従事者部門に分けて表彰します。「つついってしまう…」「知らなかった!」「言われてみれば」「ある?ある!」など、共感できる、日頃感じていること、実体験を川柳として詠んでください。詳しくは、下記応募要項、昨年入賞作品例をご参考ください。



<http://amr.ncgm.go.jp/information/2020senryu.html>

応募要項

- | | |
|--|--|
| <p>● 応募規定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募はひとり5句まで ・入賞作品はひとり1句までとなります ・日本国内および海外に在住する小学生以上の方 ・本人が創作した未発表で第三者の著作権を侵害しない作品に限ります ・個人情報が含まれていない作品に限ります | <p>● 送り先・お問い合わせ先</p> <p>〒105-0011
東京都港区芝公園1-8-21 芝公園リッジビル5F
第3回「薬剤耐性(AMR)あるある川柳」事務局 行
(株式会社公募ガイド社内)
TEL:03-5405-2063
Mail: amr-senryu@koubo.co.jp</p> |
| <p>● 応募方法</p> <p>下部の「応募する」ボタンをクリックしてフォームに作品と必要事項を記入の上、ご投稿してください。またハガキでも受け付けていますので作品と必要事項を記入の上、送付・応募してください。</p> | <p>● 応募期間</p> <p>2020年11月1日(日)から11月30日(月)(必着)</p> |
| <p>● 書式</p> <p>郵送(ハガキ)または専用フォームにて受け付けます。郵送の場合は下記の必要事項を記入の上、ご応募ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 作品 ② ペンネーム(漢字はフリガナ明記)
本名(漢字はフリガナ明記) ③ 生年月日・年齢・性別・職業 ④ 郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス <p>※応募作品は返却いたしませんのでコピー(控え)をおとりください。</p> | <p>● 入賞発表</p> <p>2021年2月上旬(予定)
AMR情報サイト/Facebookページにて発表。
受賞者には賞状・賞品を送付します。</p> |
| <p>● 応募上のご注意</p> <p>応募及び入賞作品は、当主催者のWebサイト・SNS・報道資料等、広告広報活動に使用することがございます。
ご了承のうえ、ご応募ください。</p> | |

受賞について

「金賞」「銀賞」「いいね賞」「佳作」につきまして、それぞれ素敵なプレゼントを授与します。

一般部門	金賞 最優秀賞 1名	銀賞 優秀賞 1名	いいね賞 一般投票優秀賞 1名 (両部門佳作候補の中から選出)	佳作 10名 (両部門佳作候補の中から選出)
	金賞 最優秀賞 1名	銀賞 優秀賞 1名		
医療従事者部門	金賞 最優秀賞 1名	銀賞 優秀賞 1名		

薬剤耐性(AMR)あるある川柳 昨年入賞作品例



AMR対策の必要性

～抗菌薬・抗生物質は不適切な使用により、本当に必要な時に効かなくなってしまう～

抗菌薬・抗生物質は細菌が増えるのを抑えたり、殺したりする薬です。しかし、細菌もさまざまな手段を使って生き延びようとします。本来ならば効くはずの抗菌薬・抗生物質が効かなくなること、**「薬剤耐性 (AMR: Antimicrobial resistance)」**といいます。2019年4月29日、国連は抗生物質が効きにくい薬剤耐性菌が世界的に増加し、危機的状況にあるとして各国に対策を勧告しています。また、**日本でも「薬剤耐性菌」によって、2017年に国内で8,000人以上が死亡したとの推計*が出ており、深刻な影響が懸念されています。**日本では外来での抗菌薬・抗生物質使用が9割以上を占めており、外来診療で**抗菌薬・抗生物質の適正使用を推進することが不可欠**です。

日本では毎年11月を「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」と設定しており、世界ではWHO(世界保健機関)により11月18日を含む週が「世界抗菌薬啓発週間」として定められています。このように、薬剤耐性(AMR)の問題は世界で一丸となって取り組んでいる、緊急課題です。

* J Infect Chemother. 2019 Dec 1. pii: S1341-321X(19)30335-6. doi: 10.1016/j.jiac.2019.10.017.